

第43回

冬季企画展

ひな人形展

豪華絢爛な昭和の御殿飾り



舞臺飾りのひな人形(昭和29年)



みよし市立歴史民俗資料館
〒470-0224 愛知県みよし市三好町陣取山44-1
TEL 0561-34-5000 FAX 0561-34-5150
URL <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/shiryokan/index.html>

令和7年
1月18日[土]
—
3月16日[日]

開館時間：9:00～16:30
休館日：月曜日(2月24日は除く)、
2月25日(火曜日)

交通のご案内
公共交通機関でお越しの場合
●地下鉄篠原線「赤池」駅下車
名鉄バス豊田市行き……………「三好」バス停下車、徒歩3分
●名鉄三河線「豊田市」駅下車
名鉄バス赤池駅行き……………「三好」バス停下車、徒歩3分
●名鉄豊田線「三好ヶ丘」駅下車
さんさんバス(いいじゃんライン)「29 中部小学校」下車、徒歩3分
お車でお越しの場合(無料駐車場あり)
●東名高速道路……………「東名三好」I.C.から約10分

スタンプラリー
みよし市内ひな巡り
スタンプラリー

スタンプシールラリー
愛知県内の博物館などをめぐる
ひなまつりスタンプシールラリー

2月1日(土)～3月9日(日)
詳しくは当館までお問い合わせください。

入場無料

当館は昭和57年11月に開館し、2回目の企画展示として昭和58年1月に「ひなまつりと能楽展」を開催いたしました。以来、毎年ひな人形展を開催し、今回で43回目を迎えました。この間に実に多くの皆さまからひな人形のご寄贈を賜りました。改めてご寄贈賜りました皆さまをはじめ、ご支援・ご協力を賜りました皆さまに、厚く御礼申し上げます。

上巳の節句には、古くから人形を飾る習慣がありました。飾られる人形は、地域や時代によってさまざまです。みよし市周辺では、古くは型などで成形して焼いた粘土に、色付けをした土人形が飾られていました。明治時代になると、それまでの土人形に加え、衣装を着けた男びなと女びな一対の内裏ひな人形も見られるようになります。その後の昭和時代には、男びなと女びなを御殿に収めて飾る御殿飾りひな人形が主流となりました。きらびやかで豪華な御殿飾りひな人形は、昭和20年代から30年代にかけてこの地域で大流行しました。昭和40年代頃からは、御殿飾りひな人形に替わって、人形が大きくて道具も多い7段飾りに代表される屏風段飾りひな人形が主流となりました。一方で木目込み人形やガラスケース入りのひな人形など、住宅事情を反映したコンパクトなひな人形も同じ頃から見られるようになります。平成になると、大きな7段飾り以外に、人形の大きさや衣装や素材などにこだわった、内裏一対の親王飾りや、三人官女までの3段飾りなど、多様化していきました。

今回のひな人形展では、豪華絢爛な昭和時代に大流行した御殿飾りひな人形を中心に展示紹介します。この地域で飾られ始めた当初は、白木の素朴な御殿であったものが、徐々に大きく、華やかに、豪華になっていく様子を、飾られたひな人形の数々から感じ取っていただくとともに、これらの人形たちが飾られた時代に思いを馳せていただければ幸いです。

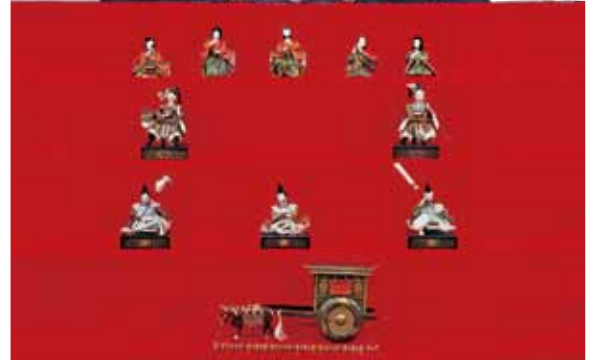
◎ひな人形やひなまつりに関する資料を集めています。



御殿飾りひな人形(昭和10年)



御殿飾りひな人形(昭和14年)



御殿飾りひな人形(昭和35年)

みよし市立歴史民俗資料館

〒470-0224 愛知県みよし市三好町陣取山44-1
 TEL 0561-34-5000 FAX 0561-34-5150
 shiryokan@city.aichi-miyoshi.lg.jp